



アートオブリスト2022おおぶ芸術遊園 ワークショップイベントを開催します

大府市は、市民が気軽に現代美術に触れ、楽しむ機会を提供するため「アートオブリスト2022おおぶ芸術遊園」として令和2年まで使われていた旧消防署共長出張所の跡地を会場に、2人の現代アーティストを講師とした個性あふれるワークショップを開催します。

■ワークショップ概要

ワークショップ① 「大きな絵を描く」

日程／令和4年11月27日（日）

時間／13:00～15:00

場所／旧消防署共長出張所（大府市明成町1-90）

対象／3歳～小学生（未就学児は保護者同伴）

料金／無料

講師／蓮沼昌宏

内容／大きな画用紙と長い絵筆を使って一人1枚大きな絵を描きます。

ワークショップ② 「出現！ダンボール消防車」

日程／令和4年12月3日（土）

時間／13:00～15:00

場所／旧消防署共長出張所（大府市明成町1-90）

対象／3歳～小学生（未就学児は保護者同伴）

料金／無料

講師／渡辺英司

内容／実際の消防車を見ながら段ボールに消防車の絵を描き、自分だけの消防車を完成させます。

■「アートオブリスト」の概要

アートオブリストは美術館のない大府市において同時代の美術や文化芸術を発信する機会を設ける試みとして、現代美術の普及と振興を図ることを目的に、2016年から毎年開催しているアートプロジェクトです。国内外のアーティストの作品を有形文化財の大倉公園休憩棟や市役所、空き店舗など様々な場所に展示することで地域資源を有効活用するとともに地域の魅力を展覧会を通して発信しています。今年度は現代美術への理解を深めるための学びの年としてワークショップやボランティア養成講座を中心としたイベントを各種開催します。



■参考

(1) 蓮沼昌宏 (はすぬま まさひろ) さんプロフィール

1981年東京都生まれ。愛知県在住歴あり。美術作家。記録写真家。2010年東京芸術大学大学院博士課程修了。壁画やアニメーション(キノール装置を用いた)、写真を表現手段とし、物語やイメージの自立性、夢の不思議さに関心をもつ。主な活動に「鳩とのフィールドワーク」「セルフ・ポートレートワークショップ」「高松次郎の影の壁画の再制作(横浜トリエンナーレ2005)」「斜面の自画像」などがある。主な展覧会に、2014年「全ての場所が世界の真ん中-1/100,000の妻有」(新潟県十日町市キナーレ)、「原始感覚美術祭」(長野県大町市)などがある。

(2) 渡辺英司 (わたなべ えいじ) さんプロフィール

1961年愛知県生まれ。1985年愛知県立芸術大学彫刻科卒業。2004年～2005年文化庁芸術家在外派遣研修員としてスコットランドに滞在(エジンバラ芸術大学客員研究員)1994年よりケンジタキギャラリー(名古屋/東京)にて定期的に作品を発表。2010年Calrm gallery(英国)、2013年Tent Gallery(エジンバラ芸術大学、英国)、Sleeper gallery(エジンバラ)にて個展開催。

主な展覧会に2001年「出会い」東京オペラシティアートギャラリー(東京)、2007年「サイクルとリサイクル」愛知県美術館(名古屋)、「笑い展：現代アートにみる「おかしみ」の事情」森美術館(東京都)、2010年あいちトリエンナーレ(愛知)、2014年「ミーツ・アート 森の玉手箱」箱根彫刻の森美術館(神奈川)など多数。アートオブリスト実行委員会実行委員長。

■参考資料 イベントチラシ

【問い合わせ先】

大府市 文化交流課

担当：永露 真佳(エイロ ナオカ)、平野 恵美(ヒラノ エミ)

電話：0562-45-6266

FAX：0562-47-7320

E-mail：bunka@city.obu.lg.jp



アートオブリスト 2022

おおぶ芸術遊園

アートオブリストは6回目を迎える大府市の現代アートイベントです。育み年の本年は、芸術作品やアーティストの方々と直接触れ合う場を設け、見て、感じて、想像し、創造する楽しみを存分に味わう機会とします。この秋、現代アーティストである蓮沼昌宏さんと渡辺英司さんをお招きし、それぞれ作家の個性あふれるワークショップを開催いたします。かつては消防署として使われていた場所で、どんな物語がはじまるでしょう。みなさまのご参加をお待ちしております。

日時 11月27日(日)、12月3日(土)

13:00~15:00

会場 旧消防署共長出張所(明成町1-90)

対象 3歳~小学生(就学前児は保護者同伴)

定員 各15人

参加費 無料

申込 11月2日(水)から電話(0562-45-6266)

または直接申込先(大府市役所 3階文化交流課)へ



主催：大府市、アートオブリスト 2022 実行委員会
申込先：

大府市役所文化交流課

平日開庁時間 8:30-17:15

※水曜のみ 19:15 まで延長開庁

〒474-8701 大府市中央町五丁目 70

0562-45-6266



ワークショップ vol.1

11/27(日)13:00~15:00

「大きな絵を描く」

講師:蓮沼昌宏さん(アーティスト)



©hasunuma masahiro

大きい画用紙と長い絵筆をつかって絵を描いてみます。
大きな絵はすごいです。

机のうえで描くのととはまるで違います。

体全体を動かすのでスポーツにちかいかもかもしれません。

どうやって描きすすめるのか考えましょう。

ひとり一枚、大きな絵に挑戦！

持ち物 汚れてもいい服、水分補給できるもの、
クレヨンなど使いたい画材
※暖かい服装でお越しください。

ワークショップ vol.2

12/3(土)13:00~15:00

「出現！ダンボール消防車」

講師:渡辺英司さん(アーティスト)



©watanabe eiji

以前、子どもの絵を調べにある幼稚園を訪問したのですが、そのとき子ども達が描いた沢山の消防車の絵に出会いました。それは、なんとも無邪気で、もうぼくにはこんな無邪気な絵は描けないと思いました。その後、どうして子どもが描く絵が「無邪気さ」をかもしだすのかを調べるため、このクレヨンのぎこちない手の動きを全く真似て模刻(もっこく / 立体の模写)してみることにしました。自然と「ぎこちなさ」が現れやすいように、不慣れな素材の鉄板を使い溶接で形を立体にしました。つや消しの白で塗装し、クレヨンで表面を模写してみました。さて、子どもが描いた消防車を「無邪気さ無し」で模した立体は、「無邪気」を乗せているでしょうか？

このような体験から、今回大府市にのこる空家になった消防署で段ボール消防車を作って展示し、かつての消防署にみなさんをつくった創作消防車が並ぶ姿を一緒にみてみたいものです。

持ち物 汚れてもいい服、水分補給できるもの、クレヨンなど使いたい画材
※暖かい服装でお越しください。

問い合わせ先: アートオブリスト実行委員会(大府市役所文化交流課) TEL: 0562-45-6266